

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立大森第一中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

授業ごとに内容の確認問題に取り組み、総合ノートを提出させ評価することで、学習に意欲的に取り組み、内容の定着をさせることができたようになった。

(2) 課題

製作目標に対して早く達成できる生徒と時間がかかる生徒の進度の違いをどのように埋めるかが課題である。

2 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業中の技能や知識は十分に身に付いているが、試験になるとその実力が発揮されない。	家庭生活での課題を見つけ生活者としての自覚をもつことができている。	興味をもって課題に取り組もうとしている。製作課題には個人差が大きい。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業中の課題や製作技術は十分に身に付いている。	ミシン縫いの技術を製作に活かし工夫することができるが、手縫いの工夫が不十分である。	興味をもって課題に取り組もうとしている。製作課題には個人差が大きい。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業中の課題や製作技術は十分に身に付いている。手縫いの技術が不十分である。	基本的な技術を応用しての作品製作への工夫に個人差がある。	基本的な手縫いの技術を身に付け、政策課題に取り組もうとしていたが、応用する部分では個人差が大きい。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭学習や試験対策のポイントを授業内に入れていく。	家庭生活での課題を、技術を身に付けることで解決できることに気付かせる。	授業ごとの製作目標を進度によって2つ設け、作品見本を製作し興味をもたせる、豊かな生活のための製作という目的を意識させる。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業内容が自分の家庭生活に活かせるように、具体的な課題を取り上げていく。	手縫いの作品見本を提示し、工夫を考えさせてから製作させる。	授業ごとの製作目標を進度によって2つ設け、作品見本を製作し興味をもたせる、エコバッグを製作し使用することで環境への配慮に興味をもたせる。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業ごとに使用する手縫い技術のプリントを作成し、技術の習得を目標にする。	手縫いの作品見本を提示し、工夫を考えてから製作させる。	授業ごとの製作目標を進度によって2つ設け、作品見本を製作し興味をもたせる、幼児の学びという製作目的を意識させる。